



一気に異国へ誘うゲスト紹介

中学生 西公民館で “留学気分”味わう

市内中学生 74 名、外国人ゲスト 36 名
関係者を含め総勢 164 名が参加



聴き入る・見入る参加者

インドの留学生ライさん 中学生と英語 交流楽しむ



Deepak Rai さん

I haven't seen such a beautiful, amazing, mesmerizing and engaging festival throughout my whole life. It was so soothing and blissful to live our childhood once again. I enjoyed the speeches because they were very inspirational. All the games and quizzes were very interesting. Also, the members of the organizing committee were friendly and sincere. Thank you for giving me one of the sweetest memories of my life.

(要訳) こんなに魅力的なフェスティバルは初めてです。子供の頃に戻ったようでした。元気をもたされたスピーチや面白かったゲーム。主催者の方々もとてもフレンドリーで感謝しています。

初参加 公民館で異文化にふれる

会場には市内中学生、ALT の先生方をはじめとたくさんの外国人ゲストが参加されていました。生徒の進行で中学生英語スピーチコンテストの入賞者・パジュ英語村派遣者の熱い発表が行われ、参加者は静かに聞き入っておりました。その後は、学校ごとに日本の福笑い・お手玉・習字などが設けられた体験コーナーをそれぞれが訪れ、楽しそうな歓声を上げていました。当協会のコーナーでもクイズに挑戦してもらい、「パサデナはどこに？」と地図で探してもらったり「市の旗は何色でしょう？」などの質問を向けたりしました。ヒントがテーブル上にあってもユニークな答えが返ってきて、笑いが起き場の雰囲気が和みました。

ゲストは韓国、カンボジア、タイ、アフガニスタンなど国も様々。自己紹介や家族の話の中、「学んだ電気工学を国に帰って役立てたい」と言う留学生もあり、志の高さを感じました。

毎年多くの国の人々と中学生がふれ合う機会が設けられていることは貴重な取り組みと感じました。中学生たちがこれらの体験をきっかけに、どんな夢を持って歩むかを想像するだけで期待がふくらみます。私にも良い異文化体験となりました。(青木悦子)



真剣な眼差し！
気になるう！

何の話題？
知りたあい！

11/3 「市民の目」参加報告 2020 国際交流フェスティバルに参加

展示コーナーでパサデナ市訪問の写真を紹介

晴天に恵まれ、売れ行き絶好調！

大根は飛ぶ勢い、ポップコーンは製造に追われ、氷をひたすら削り、ワンチームで完売達成！
皆様のご協力に感謝します。

出店収支報告(円)

かき氷	39,850
ポップコーン	12,200
コーヒー	6,960
大根	11,300
ビーズ	1,010
雑収入	7,709
売上合計	79,029
諸経費	36,750
純利益	42,279

秦野に暮らす外国人は約 3,800 人。外国籍の人たちと市民が交流を深める「国際交流フェスティバル」が 2 月 16 日(日)に本町公民館で開催されました。

外国籍の人々の日本語によるスピーチは、みな素晴らしく、日本で暮らすうえでの楽しさや大変さ、自国の生活や文化紹介などが流暢な日本語で発表されました。日頃の思いを語り合うことで、相互理解と親善交流が促進されたと思います。(大津道雄)



日頃の思いを言葉に